



大崎市 農業委員会 だより

【第37号】

令和8年9月1日発行

編集・発行

大崎市農業委員会

〒989-6188

宮城県大崎市古川七日町1番1号

TEL 0229-23-2219

FAX 0229-22-8045

e-mail: nougyo@city.osaki.miyagi.jp



会長職務代理者

くま かい やす まさ
熊 谷 安 正
(鹿島台地域)



会 長

さ さ き まさ なお
佐 々 木 政 直
(古川地域)

農業委員の任期満了に伴う委員
改選後、最初の総会（臨時）が去
る七月二十一日に開催され、会
長、会長職務代理者、各専門委員
会の委員が決定しました。
また、農地利用最適化推進委員
の任期満了に伴い、新たな推進委
員を委嘱しました。

『農業委員会新体制スタート』

就任のご挨拶

この度、農業委員と農地利用最適化
推進委員の改選により、農業委員26名
が市長から任命されました。任命式後
に開催された臨時総会において、私た
ちが会長と会長職務代理者を拝命する
こととなり、大変身の引き締まる思い
であります。その後、農地利用最適化
推進委員26名が農業委員会から委嘱さ
れ、新たな大崎市農業委員会がスタ
ートいたしました。

我が国の農業・農村においては、農
業従事者の高齢化と担い手不足が急速
に進行しており、野生鳥獣被害の拡大
と遊休農地の増加も相まって、存続さ
え危惧される集落が出現しています。
加えて、資材価格の高騰は収まらず、
気象災害のリスクも高まるなど、農業
経営はきびしさを増しております。

このような状況の中、国では改正基
本法の理念に基づく「食料・農業・農
村基本計画」を策定し、初動5年間で
農業構造転換集中対策期間として位置

づけ、構造転換を進めています。大崎
市でも、地域農業の将来像である「地
域計画」が策定されました。今後は、
関係機関が一丸となり、その実行とプ
ラッシュアップに取り組むことが大き
な課題となっています。

農業委員会委員は、「地域計画」の
実現に向けて、遊休農地の発生防止と
解消、担い手への農地等の利用集積・
集約化、新規参入・新規就農者の促進
といった農地利用の最適化活動をより
一層推進することが重要です。やむを得ず、
大崎市の貴重な財産である優良農地の
確保に万全を期すため、関係機関との
連携を強化し、遊休農地対策や次世代
の担い手育成対策に取り組んでまいり
ます。

持続可能な農業・農村の構築を目指
しながら、大崎市の農業振興・発展の
ため、当農業委員会は最大限の努力を
尽くしてまいります。市民皆様の一層
のご支援とご協力をお願い申し上げ、
就任のご挨拶いたします。

農業委員紹介

主に総会での議案審議のほか、農地利用最適化推進委員と連携し、担い手への農地等の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、農業への新規参入の促進を積極的に推進します。

役 職 名
所属専門委員会氏 名
(地 域)

企 画

さ さ き としみち
佐々木俊通
(古川地域)

企 画

さ と う よ し の り
佐藤喜則
(岩出山地域)

農 政

ちゅうばち まもる
中鉢 守
(鳴子温泉地域)

農 政

さくら い ま さ ゆ き
櫻井正幸
(松山地域)

企 画

さ さ き こ
佐々木ひろ子
(古川地域)

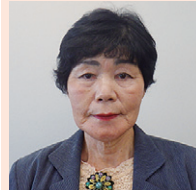
農 政

さ さ き ゆ た か
佐々木 大
(田尻地域)

企 画

なか も と な み
中本奈美
(古川地域)

企 画

すがわら
菅原ひろみ
(田尻地域)

企 画

う し い え か つ の り
氏家克則
(岩出山地域)

農 政

す す き い た る
鈴木 至
(古川地域)

企 画

さ わ だ た く み
澤田 巧
(田尻地域)

農 政

すがわら こ
菅原まり子
(岩出山地域)

農 政

ぬ の つ か こ う こ
布塚幸子
(岩出山地域)

企 画

う え の た け し
上野 猛
(松山地域)

農 政

た か は し よ り こ
高橋順子
(古川地域)

農地委員会委員長

す が わ ら せい い ち
菅原清一
(古川地域)

農地委員会副委員長

さいとう ま り こ
齋藤真理子
(鹿島台地域)

農 政

か と う ま さ の り
加藤政典
(古川地域)企画広報委員会委員長
企 画お の で ら ま さ あ き
小野寺正晃
(古川地域)

農 政

よ こ や ま ま さ ひ ろ
横山昌弘
(三本木地域)

※議席順に掲載

企画広報委員会副委員長
企 画なか も り し ょ う え つ
中森昭悦
(古川地域)

企 画

た か は し え り こ
高橋英理子
(鳴子温泉地域)農政委員会副委員長
農 政さ さ き ま さ ひ こ
佐々木正彦
(田尻地域)農政委員会委員長
農 政なか じ ょ う や す ひ ろ
中條泰洋
(古川地域)



かとう えいこう
加藤 栄幸
(古川2地域)



もんま こ
門間すみ子
(古川1地域)



ささき えみ
佐々木恵美
(古川1地域)



こん の たか ゆき
今野 隆之
(古川1地域)



氏 名
(担当地域)



もり かわきょういち
森川 強一
(古川3地域)



ほん だ ち ひろ
本田 千尋
(古川3地域)



ささき ゆきこ
佐々木由紀子
(古川3地域)



わた なべ まさ ひこ
渡 邊 正彦
(古川2地域)



たか はし しゅういち
高橋 秀一
(古川2地域)



こ づつみ あや こ
小 堤 彩子
(鹿島台地域)



さ さ き たかとし
佐々木隆寿
(三本木地域)



お だか い すみ
小 高 和 泉
(三本木地域)



つつ い かつ や
筒 井 勝 也
(松山地域)



き ない こう や
木 内 公 也
(松山地域)



ち ば とし あき
千葉 敏 昭
(岩出山地域)



たか はし りょう
高橋 良
(岩出山地域)



たか はし よし かず
高橋 芳一
(岩出山地域)



さい とう ひろ よし
齋 藤 浩 義
(岩出山地域)



もろ おか けい すけ
諸岡 恵 輔
(鹿島台地域)



こん の ひろし
今 野 浩
(鹿島台地域)



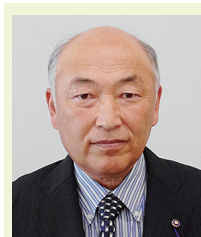
すず き こう し
鈴木 孝 志
(田尻地域)



さ さ き こ
佐々木ゆき子
(田尻地域)



きく ち じゅん や
菊 地 純 也
(田尻地域)



かわ さき せい えつ
川 崎 清 悦
(田尻地域)



たか はし いさむ
高橋 勇
(鳴子温泉地域)



うえ の たき と
上 野 滝 人
(鳴子温泉地域)

※古川1：大崎市古川の古川、荒雄、敷玉地区の区域
古川3：大崎市古川の宮沢、長岡、富永、清滝地区の区域

古川2：大崎市古川の志田、西古川、東大崎、高倉地区の区域

農地利用最適化推進委員紹介

農地の出し手と受け手のマッチングなど現場での活動を行い、農業委員と連携し担い手への農地集積・集約化、遊休農地対策など農地利用の最適化の推進に取り組みます。

令和8年度第1回大崎市農業委員会定例総会を開催しました

令和8年度 事業計画

令和八年四月二十七日第一回定例総会において決定した事業計画は、次の通りです。

基本方針

本農業委員会は、関係機関・団体等との連携を強化し、地域の貴重な財産である優良農地の確保に万全を期すとともに、地域農業者の代表として次の重点事項に取り組んでまいります。

重点事項

- ① 農業委員・農地利用最適化推進委員及び関係機関との連携強化による農地集積・集約化の促進、並びに地域計画の策定に係る目標地図の策定・更新
- ② 農地・担い手対策及び農業・農村の活性化の推進
- ③ 農業を担う多様な人材の確保・育成を推進するため、女性や若手農業者の登用にに向けた会議や研修会の開催
- ④ 優良農地の確保に向けた農地制度の適正な執行
- ⑤ 耕作放棄地の発生防止及び解消の推進
- ⑥ 農業者年金制度の普及と加入の推進
- ⑦ 地域農業者への情報提供及び意見集約、並びに関係機関等への改善策提案

臨時総会

農地利用最適化推進委員への委嘱の様子



通常総会での審議の様子



令和8年7月21日の臨時総会において、新たな専門委員会（農地委員会・農政委員会・企画広報委員会）の委員が決定し、各事業計画に取り組んでまいります。

農地委員会（農業委員24名）【基本毎月の定例総会の前日に開催】

【主な内容】

- 定例総会で審議する農地の許認可等の案件の事前調査・内容検討
- 非農地に係る調査
- 農地現状変更届の事後調査
- 農地転用の事後パトロール確認 等

農政委員会（農業委員11名）

【主な内容】

- 農業者との懇談会、意見の取りまとめ
- 農作業標準賃金額の検討
- 農業者年金の加入推進
- 市長に対する政策提案
- 農業委員会事務の実施状況等の公表に係る目標及びその達成に向けた活動の点検・評価
- 農地等の利用の最適化の推進に関する指針の策定、意見の提出 等

企画広報委員会（農業委員11名）

【主な内容】

- 農業委員会だよりの発行に係る取材・編集
- 農業委員会行政視察・各種研修会の立案
- 全国農業新聞の購読の推進
- 一日女性農業委員会の開催 等

毎月の定例総会日

定例総会の開催は、毎月25日（25日が土日祝日の場合は、翌平日）

令和八年度 農業行政視察研修報告

六月二十九日及び三十日の日程で、岩手方面において行政視察研修を実施しました。

一日目の最初の研修では、日本農業遺産の認定を受けた束稲（たばしね）山麓地域で土地の高低差により作目が分かれた経緯などについて研修し、その後、金山棚田（かなやま）は地域の貴重な財産として、オーナー制度の仕組みなども活用しながら維持管理に努めており、国の「つなぐ棚田遺産」ふるさとの誇りを未来へ（※1）にも認定された原風景を感じました。

次に、農業法人として日本最大級の大規模農業（九百七十八ヘクタール）を展開している北上市の（株）西部開発農産を視察しました。転作作業の受託組織から出発し、離農者から農地を引き受け、自動操舵トラクター、収量センサー付きコンバイン等のスマート農業技術の活用によって生産性と収益を高めています。米・小麦・蕎麦・大豆・野菜・畜産・加工等と経営は幅広く、六次産業化にも積極的に取り組んでいます。今後の農業

の一つの方向性を暗示していると思いましたが、何よりもスケール感に全員が圧倒されたというのが正直な感想でした。

二日目は、岩手大学農学部を訪問し、マスコミ取材も多く多忙な山内貴義准教授から、クマの生態について最新の研究成果も踏まえた説明を受けました。大崎市でもクマ被害が年々深刻になっていることもあり、参加者からは予定時間をオーバーするほど多くの質問がありました。

今回の研修で得た有用な情報を、少しでも地域に還元し、お役に立てていければと思います。

（※1 農林水産省が認定した全国の優れた棚田の名称）

取材 今野 久男 前委員



岩手大学 山内貴義准教授からクマの生態について受講



スマート農業の研修先において



金山棚田の水田風景は懐かしさを感じます

購読してみませんか？ 農業者の皆様を応援します！

わかりやすく解説
農業・農政

忙しくてもまとめて読める

最新情報を逃さない
経営・流通・技術

地域版
身近な話題満載

頑張る若手や
女性の元気を応援

週刊紙

～お申込み・お問合せは～
お近くの農業委員、
農業委員会事務局
（☎23-2219）まで
お願いいたします。

月4回金曜日発行 ～ 全国農業新聞の購読料 ～

紙 版 900円（税込）/月（年額10,800円）

電子版 700円（税込）/月（年額 8,400円）

全国農業
新聞
NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS



岩出山地域

農家と猟師の二刀流

千葉 浩 美 さん (七十二歳)

岩出山地域では、毎年拡大するイノシシ被害に多くの農家が頭を悩ませています。そうした中、被害農家に大いに頼りにされている千葉浩美さんを紹介いたします。

千葉浩美さんは水田九ヘクタール、畑三十アール(枝豆、ホウレンソウ)を経営する農家であり、地域屈指の凄腕猟師でもあります。

きっかけは九年前、田畑の被害が増えてきたものの、地域に狩猟免許をもっている方が少ないこともあり、狩猟免許(わな猟)の取得に至ったそうです。

最初の二年間は一頭も捕獲できなかったそうですが、研究や工夫を重ねた結果、徐々に捕獲できる数も増えたそうです。時にはイノシシのわなのワイヤーが切れてしまったり、百キロを超える熊が誤ってわなにかかったこともあ



手作りの箱わなを前にして

取材 今野 久男 前委員

※1 削蹄士・牛や馬の蹄を削り、健康な状態に整える専門職

りましたが、無事に続けてこられたことは、剣道で培った間合いや、元※1削蹄士の経験が役立ったのかも知れないと笑顔でお話いただきました。

「今後も農家をしながら、地域の農家の方が安心して作業できるよう狩猟も続けていきたい。今後の目標は、農業と猟師を後十年位続けること。」だそうです。健康に気をつけて大好きなお酒も控えながら、毎日を過ごすようにしているとのことでした。

農業者年金受給者の声

岩出山下野目地区
氏 家 清 一 さん
(八十九歳)

氏家さんは学業を終えてすぐに両親のもとで就農され、両親の勧めにより、農業者年金基金制度が始まった昭和四十六年に農業者年金に加入しました。

その後、会社へ就職したため一時加入を中断しましたが、退職後は地域に根差した本格的な水稻栽培と畑作(主に葉物野菜など)に取り組みことを決意し、農業者年金に再加入しました。

氏家さんは、若い頃から加入していたおかげで、基礎年金に加えて農業者年金も受給することができ、大変感謝していると話していました。

「農業者年金基金は将来の安心につながる制度です。これから就農する若い方々には、ぜひ加入していただきたい。」と、制度の重要性を語っておりしました。

取材 白川 知則 前委員

農業者年金は 今のあなたと老後のあなたを応援します

ポイント1 農業者なら誰でも入れる **「終身年金」**

ポイント2 一定の要件を満たす方には **「保険料の国庫補助」**

ポイント3 税制面で大きな **「優遇措置」**

加入資格は3つだけ

①年間60日以上農業に従事 ②65歳未満 ③国民年金第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)(ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)

内容やご相談は、最寄りの農業委員会またはJAへお問い合わせください。

詳しい年金額シミュレーションはこちら⇒



農地を次世代に引き継ぐために

高齢化や人口減少により、農業者の減少や遊休農地が拡大し続けると、地域の農地が守れなくなってしまうかもしれません。これまで地域みなさんが守り、おいしい作物を作ってきた農地を、子や孫の世代に引き継いでいくため、大崎市では令和7年3月31日に地域計画を策定しました。

8年度の地域計画の予定

現在モデル地区と位置づけている古川地域富永地区の前回の協議で、担い手と耕作地を紐づけたゾーニング（区域指定）を行っているので、それを反映させた地図をもとに、より多くの担い手を交えて内容を調整する予定としています。また、富永地区での更新方法を他地区でも実施し、市全体の計画のブラッシュアップを図ります。

地域農業を具現化しましょう

地域計画は、地域の農業を将来へ継続させていくために、地域でよく話し合い、農地を利用しやすいよう、次世代へ引き継いでいくことが目的です。地域計画の策定を通じて、地域の実状を浮き彫り（見える化）にすることで、10年後を見据えた地域農業の対策を考え、必要な取り組みを行うことが可能となります。

策定した地域計画を振り返り、話し合いを継続して、目指すべき地域農業を具現化しましょう。



**目指すべき地域農業に向け
ブラッシュアップ（練り上げ）!**

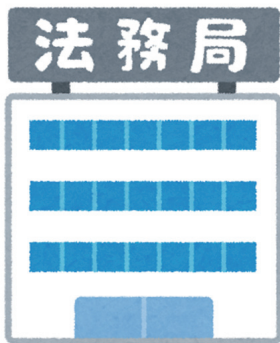
農地等利用状況調査を実施しています

遊休農地や農地の無断転用の実態を把握するため、8月から9月にかけて農業委員会による農地の利用状況調査を実施しています。

調査の結果、遊休農地の所有者等に対し「利用意向調査」を実施するほか、新たな遊休農地や、農地法の許可を受けずに宅地や資材置き場などに利用している農地が確認された場合は、健全な農地の維持と有効活用を図るため、当該農地の所有者・使用者へ指導を行います。

【農地相続時の手続きについて】

農地を相続したときは・・・



**相続登記の手続きを
法務局に申請します。**

※令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されました。
詳しくは、法務局へお問い合わせください。

仙台法務局古川支局（☎ 0229-22-0510）



**相続登記が完了しましたら、
農業委員会に届出します。**

※届出の際は、「登記完了証」など相続したことが確認できる
書類をご持参ください。

詳しくは、事務局へお問い合わせください。

大崎市農業委員会事務局（☎ 0229-23-2219）

編集：企画広報委員会

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
高 橋	澤 田	上 野	佐 々 木	中 本	菅 原	氏 家	佐 々 木	佐 藤	中 森	小 野 寺
英 理 子	巧	猛	ひろ 子	奈 美	ひろ み	克 則	俊 通	喜 則	昭 悦	正 晃



変化は「だより」だけではなく、今年は農業委員、農地利用最適化推進委員の改選期となります。新たなメンバーで大崎市の農地利用の最適化を推進してまいります。

中森 昭悦

世界情勢から地域の話題まで、様々な情報に触れた際に、伝えることの難しさを感じることがあります。言い方を変えれば、どの情報を信じればいいのかと思う時もあります。

「大崎市農業委員会だより」は、農政情報や地域の話題などに誠実に向き合いながら編集し、発信しております。

「だより」は昨年九月からWeb版になり、今回で三回目の発行となります。紙媒体の方がいいというご意見もありますが、伝える工夫をあれこれと思案しながら、この変化を楽しみたいものです。

編集後記